

第5章 環境学習・啓発活動等

1 環境ひろばと市の共催事業

(1) 第19回環境シンポジウムの開催

多くの市民と環境問題について考える機会として、国分寺市環境ひろばと協働で環境シンポジウムを開催しました。

テーマ：気候の危機をどう受け止めるか

講師：東京大学 教授 江守 正多 氏

パネリスト：東京都立大学 教授 奥 真美 氏

国分寺市 副市長 内藤 達也 氏

日時：令和6年2月18日（日）

会場：リオンホール及びオンライン開催

参加者：108人（会場88人、オンライン20人）



(2) 国分寺まつり・環境まつりへの参加

例年、環境基本計画の紹介、国分寺市環境ひろばのPR及び省エネに関する情報提供などを目的に国分寺まつり、環境まつりに参加しています。国分寺まつりにおいては、地球温暖化に関するクイズ等を行い、環境配慮行動等に関する啓発を行いました。環境まつりについては、令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

2 課別事業一覧

※**協働**…地域の様々な課題を解決していくために、自治の担い手である市民や事業者等と市が共通の目的を設定できる事柄について対等な協力関係の下に、それぞれができることを役割分担し、その実現に向けて協力して取り組むこと。

●防災安全課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
井戸端会議の実施	毎月1回実施 (11か所)	地域社会における災害時の生活用水の確保、水と緑を通した都市環境の保全、市民のふれあいの場の確保等を目的として設置した25か所(うち2か所は民間井戸)について市民と協働して維持・管理を行いました。 11か所の井戸について、周辺に住んでいる市民防災推進委員や住民を中心として井戸端会議及びポンプ管理、清掃、簡易水質検査を行い、同時に防災に関する情報交換等を行いました。
市民防災 まちづくり学校 (通算42回目)	11回実施 受講生39人 (修了者37人)	防災都市づくりを総合的に進めるために、市民への防災まちづくりに関する教育、情報の提供を系統的・体系的に行って市民意識の高揚を図ると同時に、地域における市民防災の発展、あるいはまちづくりを自主的に推進するリーダーを養成することを目的としています。 修了者数累計 1,508人 令和5年度修了者のうちから市民防災推進委員を32人認定しました。認定者数累計 1,357人
協働 イザ! カエルキャラバン!	9月24日(日)に都立武蔵国分寺公園内で防災フェスタを開催し、市民防災推進委員の協力を得て、イザ!カエルキャラバンを実施しました。	

●経 済 課		
事 業 名	実施日・参加者数等	事 業 内 容・目的 等
市民農業大学	受講生30人 (うち修了生 23 人)	農業者が講師となり、市民が農作物の播種・定植から除草等の圃場管理・収穫まで一連の農作業を体験することによって、農業者と市民の相互理解を促進し、農業とふれ合う市民のすそ野を拡大しました。
援農ボランティア推進事業	市民農業大学で「援農ボランティア技術習得講座」を実施	市民農業大学受講生を対象に援農ボランティア技術取得講座を実施し、出席率により23人を東京都の「援農ボランティア」として認定しました。講座は実習（市民農業大学の実習を兼ねる）10単位・座学3単位・体験学習（実務研修含む）3単位を実施し、講座内容の充実を図りました。 平成8～令和5年度に（公財）東京都農林水産振興財団が認定した「援農ボランティア」のうち派遣希望のあった 89 人を 18 戸の農家に派遣しました。
市民農園	全4農園 330 区画	市民が野菜の栽培を通じて土に親しむとともに、生産の喜びを味わい、市民相互の交流を深め豊かな余暇生活の実現を図りました。
親子農業体験教室	5月～8月 7回実施 参加者 10 組（20 人）	市内在住の小学生親子を対象に、市民農業大学修了生の指導により播種から収穫までを体験しました。
収穫体験付き野菜作り体験講習会	11月26日、12月10日 参加者 16 人	土作りから収穫までの作業を体験しました。

●健康推進課		
事 業 名	実施日・参加者数等	事 業 内 容・目的 等
食育講座	6月24日 参加者 21 人 8月3日 参加者 23 人 11月28日 参加者 5 人 3月5日 参加者 21 人	親子食育講座2回、大人向け講座を実施しました。 （6月24日）「親子で作る料理体験会 おいしく作って食べよう」 （8月3日）「親子でクッキング体験 おいしくて元気になるおやつの食べ方」 （11月28日）「天平メニュー・国分寺ごはん 昔の食生活とバランスのいい食事」 （3月5日）「災害時の備え 健康を維持するために」
	3回実施 参加者 21 人	食育に関する出前講座を子どもから高齢者を対象に実施しました。

●まちづくり計画課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
協働 環境ひろば	毎月第3日曜日 (原則)	市民・事業者・市が一堂に会し、環境をテーマに意見交換を行う場として年11回開催するとともに、イベントでの啓発活動、環境シンポジウムを実施しました。
協働 環境シンポジウム	2月18日 参加者数108人 (会場88人、 オンライン20人)	環境ひろばと協働して、環境に関する講演会を実施しました。 第19回国分寺市環境シンポジウム テーマ：「気候の危機をどう受け止めるか」 ・講師：江守正多氏（東京大学 教授） ・パネリスト：奥真美氏（都立大学 教授） 内藤達也氏（副市長） ・市内環境活動団体紹介（6団体）
アメリカザリガニ 捕獲大作戦	9月23日 参加者数 20組46人 (市内在住の小学生と保護者)	姿見の池緑地において、外来生物による生態系等に及ぼす被害の軽減や自然に対する興味関心を育てることを目的に、小学生向けのイベントとして、外来生物であるアメリカザリガニの捕獲イベントを実施しました。（アメリカザリガニ捕獲数：56匹） また、国分寺市環境アドバイザーを招き、アメリカザリガニをはじめとした、外来生物と水辺の生きものをテーマにお話をいただき、外来生物の脅威や生物多様性の保全について普及啓発を行いました。
環境情報 ライブラリー	—	環境に関する図書・資料の閲覧に供するため、令和5年度版環境白書（環境省編集）を配架しました。
環境家計簿 モニター	期間 7月～9月（夏期） 12月～2月（冬期） 参加世帯 合計49世帯	家庭における電気・ガスの使用量を把握することで、省エネ意識を高め、地球温暖化防止に寄与することを目的として実施しました。 夏期と冬期にモニターを募集し、電気・ガスの使用量から算出した温室効果ガス排出量や各世帯で工夫したエコライフ（省エネルギー生活）の取組の報告を受け、取りまとめた結果を公表しました。

●交通対策課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
駅前放置自転車 クリーンキャンペーン	10月22日～10月31日	キャンペーン期間中は、放置自転車の放置防止指導を毎日実施するとともに、放置自転車の撤去回数を通常よりも増やし、撤去活動を強化しました。

●緑と公園課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
協働 エックス山等緑地保全事業	(作業) 毎月第2・3・4金曜日 (会議) 毎年1・4・7・10月 第2金曜日	エックス山等市民協議会と協働して、四半期ごとに1回意見交換を行うとともに、毎月3回(ただし会議日を除く)西恋ヶ窪緑地において維持管理作業を実施しました。定例作業のほか、樹木更新を実施するため、11月から2月までの間、週3回活動しました。
協働 砂川用水路維持管理事業	毎月第1月曜日 毎月第2・4土曜日 定例作業	美しい用水の会と協働し、毎月3回の定例作業として、砂川用水のより良い環境維持を目的に、水路ののり面の除草やごみ揚げ清掃、樹木剪定などを実施しました。
協働 姿見の池周辺維持管理事業	毎月第1・4日曜日 定例作業	緑と自然を育てる会と協働して、姿見の池周辺緑地において、良好な環境保全を目的に水路ののり面の除草、清掃及び草花等の補植・管理を実施しました。
協働 国分寺エリアの「野川整備計画」の早期実現の気運醸成のため「野川源流スクール」(自慢できる源流のまちへ)開講事業	第一小学校 12月4日(月) 76人 第四小学校 10月24日(水) 164人 第七小学校 6月29日(木) 76人 高校生以上 10月1日(日) 41人 12月2日(土) 27人	国分寺エリアの「野川整備計画」の早期実現の機運醸成のため、市民の方に野川を知っていただくために第一小学校、第四小学校、第七小学校の四年生、高校生以上を対象に野川に関しての座学、散策等を学ぶ「野川源流スクール」実施しました。
エコミュージアム	12月6日 参加者 21人	市内を博物館に見立て、何気なく目にしている自然や生活環境を、歴史や文化・伝統に根ざした視点から、散策しました。恋ヶ窪村分水、砂川用水にはじまり、窪東公園、姿見の池などを訪れました。
夏休みこども自然教室(自習編)	各小学校へお知らせを配布、ホームページで紹介	西恋ヶ窪樹林地において、植物の説明板の設置やセミの抜けガラを調べられる資料の作成を行い、ホームページで紹介しました。
バードウォッチング	日立中央研究所の入所の許可が下りなかったため実施しませんでした。	
湧水源周辺散策	野川源流スクールを開催し、東京経済大学の新次郎池などを散策しましたので、実施しませんでした。	

●環境対策課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
浅川清流環境組合 可燃ごみ処理施設 見学会	8月1日（火） 参加者：12人 8月19日（土） 参加者：17人	日野市に建設された3市（日野市・国分寺市・小金井市）の共同による可燃ごみ焼却処理施設（令和2年4月稼働）の見学を通じ、家庭から排出されるもやせるごみの処理工程等について学び、市民による「ごみの減量・資源化の推進」を図ることを目的として開催しています。
三多摩は一つなり 交流事業	7月22日（土） 参加者 50人	東京たま広域資源循環組合組織団体が主催する、文化・スポーツ等の事業に、日の出町民が参加し、廃棄物を搬出する側と搬入される側の理解を深め、円滑な一般廃棄物広域処分事業の推進に寄与するために開催している。
協働 喫煙マナーアップ キャンペーン	新型コロナウイルス感染症等の影響から、従来の実施方法では現在の社会状況にそぐわない面があるため、実施を見合わせました。今後事業の有り方自体を含め、実施方法等を検討していきます。	
協働 クリーン運動	11月12日（日） 参加団体：64団体 参加者：2,951人	国分寺市民クリーン運動実行委員会を主体に、自治会、老人会、各種団体等と連携し、ボランティア精神に基づいて自主的に清掃活動を行い、地域環境の向上を図ることを目的としています。 昭和51年に始まった国分寺市民クリーン運動も73回を数え、市民の間に定着し、11月に公共の場所での一斉清掃を実施しました。 平成27年度からひとりでも多くの市民に参加してもらうため、自治会・町内会など団体に加えて、市報や自治会等の集まりでのポスター掲示の依頼、前日の広報車による周知等参加を呼びかけました。

●ごみ減量推進課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
協働 3 R 講座	6 月～11 月 6 回 受講生 14 人 (修了者 13 人)	市のごみ処理、リサイクルの現状について理解を深め、市と市民が協働して地域のごみ問題を解決するために、ボランティアリーダーの育成を目的とした 3 R 講座を実施しました。 修了者のうち 5 人を廃棄物減量等推進委員として委嘱しました。
協働 国分寺環境まつり (中止) リサイクル家具販売会 & もったいない食器市	12 月 3 日 会場 清掃センター 来場者 約 300 人	国分寺環境まつりは中止しましたが、規模を縮小して廃棄物減量等推進委員会と協働でリユースを目的とした「リサイクル家具販売会・もったいない食器市」を開催しました。公民館等の公共施設に持ち込まれる陶磁器の無料配布や粗大ごみとして出された家具を修理して販売、さらには、たい肥の無料配布や東京都と協働で使用済み食用油の回収と周知、社会福祉協議会による家庭で余っているお米や缶詰等の持ち込みをしてもらうフードドライブを実施し、市民のリサイクル意識向上を図りました。
ごみの分別・ 出し方の啓発	イベント開催 1 回	「リサイクル家具販売会・もったいない食器市」に分別よろず相談所を出店し、市民にごみの分け方・出し方を詳細に説明しました。
	イベント参加 6 回	廃棄物減量等推進委員会と協働で、国分寺まつりや市内公共施設でのイベントに参加し、市民にごみの分別体験、ごみ減量カルタ、ごみ分別クイズを実施し、市民のごみ分別知識向上を図りました。
	分別出前講座 15 回 参加者数 284 人	市民からの依頼により、ごみや資源物の分別に関する説明会を実施し、市民のごみ分別知識向上を図りました。
	市報掲載 2 回	市報に資源プラスチックの分け方を中心とした特集記事を掲載し、市民に分別と資源化意識の向上を図りました。

●学校指導課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
授業における環境学習 浅川清流環境組合 の見学	全市立小学校	社会科副読本「わたしたちの国分寺」にはくらしとごみの単元があり、ごみの出し方、行方、量、再利用等について調べました。また、4年生を対象に浅川清流環境組合への施設見学を実施しました。
科学教室	(5年生コース) 年間延べ32回実施 参加者104人 (6年生コース) 年間延べ30回実施 参加者48人	5年生コースでは「光の科学」「親子野外観察」「大気の化学」「水の科学」を、6年生コースでは「植物の科学」「土の科学」「電気の科学」を取り上げ観察や実験を行いました。
ジュニア科学教室 「宇宙の学校」	キッズコース 参加者176組 ファンダメンタルコース 参加者115人	キッズコース 5歳児から小学校2年生を対象 ファンダメンタルコース 小学3・4年生を対象 宇宙・身の周りの自然や不思議な現象を考え、自然科学をテーマとした実験・工作を行うことで、子どもの好奇心や冒険心を育むことを目的として、配布する科学冊子を用いた家庭学習と3回のスクーリングを実施しました。
学童体験農園	第六小学校で実施	農家の指導を受けながら、土づくり、種まきから収穫までの一連の作業を通して、児童に勤労の尊さや喜び、成就感を実感させるとともに協調性を養うことを目的に実施しました。

●社会教育課		
事業名	実施日・参加者数等	事業内容・目的等
青少年地域リーダー講習会	4月～3月（9回） 参加者数 22人	子どもからお年寄りまでの橋渡し役となり、豊かな地域づくりに貢献できる青少年のリーダー（中学生・高校生等）を育てることを目的としてさまざまな講習会を実施しました。
わんぱく学校	4月～3月（10回） 参加者数 40人	子どもたち（小学5・6年生）を対象とし、1年間、デイキャンプや宿泊実習など、多くの体験活動を通じて、感受性や人間性、また協調性を育むことを目的としています。

●ふるさと文化財課		
事業名	開催日・参加者数等	事業内容・目的等
ゴールデンウィーク 子どもイベント 「なぞときビンゴ」	10月28日～11月5日 参加者 73人	教育7DAYS及び東京文化財ウィーク2023企画事業の一つとして実施した。武蔵国分寺跡資料館及び長屋門などにヒントがあるクイズとし、展示物にまつわる9つのクイズをビンゴ形式に答えるものとし、ビンゴ達成者に記念品を贈呈した。
ふるさと文化財愛護 ボランティア養成 講座	12月6日・12月13日 1月10日・1月17日 1月31日・2月14日 2月21日 参加者 6人	史跡ガイド・普及ボランティアの2部門のボランティアを募集し、国分寺市の歴史と文化財の保護、ボランティアの活動等についての講義と実習を実施。全7回
市外文化財めぐり	11月26日 参加者 27人	市民が武蔵国以外の国の古代の遺跡や文化財を見学し、特に国分寺に関する見聞を広めることで、より深く国分寺市の古代や武蔵国分寺を理解し、国分寺市に愛着と誇りをもつことを目的とする。海老名市の史跡相模国分寺跡、史跡秋葉山古墳群、綾瀬市の史跡神崎遺跡を訪問した。
夏休み子どもプログラム 「拓本うちわを作ろう」	8月5日 参加者 33人	夏休み子どもプログラムのイベントとして、和紙を瓦の上に置き、クーピーペンシルで文字を浮き上がらせる方法を用いた拓本（乾拓）体験をお鷹の道湧水園内で実施した。
こくぶんじジュニア 歴史検定	9月23日 参加者 6人	市内在住・在学の小学5・6年生を対象に、問題数30（4者択一）で40分間の検定時間を設けて実施した。参加者全員に認定証を交付した。
市内文化財めぐり	10月10日 参加者 14人	国分寺の国指定重要文化財「木造薬師如来坐像」の御開帳に合わせ、史跡武蔵国分寺跡周辺をふるさと文化財課職員が案内。国分寺市観光協会と共催で実施（東京文化財ウィーク参加事業）

●ふるさと文化財課		
事業名	開催日・参加者数等	事業内容・目的等
秋の子ども向けイベント 「レプリカをつくろう」	11月5日 参加者 24人	教育7DAYSの一環及び東京文化財ウィーク2023企画事業の一つとして実施した。同時開催の歴史なぞときクイズの参加やボランティアによる資料館案内、レプリカの見本となった遺物の解説などを実施した。
市民歴史講演会 「石造物と紀行文から見る国分寺」	2月14日 参加者 82人	文化財愛護ボランティア養成講座及びフォローアップ講座の一環として市民歴史講座を実施した。中世・近世の国分寺市域がどのような姿であったかのか、紀行文や石造物に残された文字資料から紐解いていく講座。
青年会議所主催 ぶんじ子どもフェスタ2023 「ぬりえひろば」	8月26日 参加人数 231人	子どもたちに国分寺市のまちを好きになってもらうこと、市民の参画意識を高めることをテーマに、国分寺市青年会議所が主催で、開催したイベントに武蔵国分寺跡資料館等で展示している遺物等遺跡関係のぬりえを用意し子どもたちに武蔵国分寺を楽しみながら知るきっかけの提供を実施した。
史跡めぐり 小金井市共催 「縄文遺跡群ウォーク」	11月12日 参加人数 21人	小金井市と国分寺市に所在する縄文遺跡群をそれぞれに分布する遺跡跡を巡り保護、保存、普及において、近隣市と更なる連携を図り推進していく。 事業においては、両市の縄文遺跡群跡を今回ウォーキングするルートマップに解説を作成し自治体の枠を超えた広域的な野川周辺の縄文遺跡の分布について、理解促進を図る。 今回の両市共催事業をモデル事業として、今後小金井市とのより連携事業の発展を狙い、また更には今後近隣市と合同での縄文遺跡群をより広域的に保存と活用について普及事業を促進させていく。

●公民館事業			
事業名		実施日・参加者数等	事業内容・目的等
本多公民館	環境講座 くさあ始めよう プラスチック・マスター — プラスチックごみの減量・資源化に向けて —	3月（1回） 参加者 10人	ごみの減量・資源化について学び、課題等を知る機会とする。また、今後の生活で自分達ができることを具体的に考える場とする。 講義では、プラスチック削減をするための方法やうまく付き合うためにはどうするのか。について皆で考えていきます。DVDの視聴等も行いながら理解を深めます。また、自分自身の生活だけでなく、廃棄物減量に関する研修や啓発活動に興味関心を持ってもらうことで、ごみ減量継続の一助と考える。

●公民館事業			
事業名		実施日・参加者数等	事業内容・目的等
恋ヶ窪公民館	自然環境講座 〈こくベジの魅力再発見〉	9月（1回） 参加者 14 人	「こくベジ」を切り口に国分寺市の農業について学ぶ講座。こくベジのこれまでの歩みと市内の農業の現状、市内小学校の食育についての取り組みや近郊農業の課題などを講義形式で学ぶ。近隣農家の見学も行い、採れた野菜の調理方法や効果的な保存方法などを聞く。前半は公民館内でＪＡ東京むさしの職員より国分寺の農業についての講義、後半は近隣の農園（中村農園の予定）に見学に行く。 地域の農業の現状と課題、自然環境についてなどを知る機会になる。ＪＡでは小学校の出張授業を通して地域理解を図ることや、食育についてのゲストティーチャーなどを引き受けており、小学生をもつ子育て世代が、家庭で共通の話題で地域に感心を持つきっかけづくりとなる。
	環境講座ゼロ カーボンシティ を目指して ～脱炭素社会に 向けて今できる こと～	11月（全2回） 参加者 44 人 延べ人数 63 人	気候危機の主な原因となる温室効果ガスを全てゼロにする「ゼロカーボン」これを実現するため、いま注目されているバイオマスの活用や、ごみの減量・分別について学んでもらう。 第1回は木質バイオマスの活用について、第2回は市廃棄物減量等推進委員会によるプラごみの現状やごみの減量をさらに進めるためのごみの分別について行う。
もとまち公民館	冬の自然講座 〈今をたのしむ植物観察〉	2月（全1回） 参加者 52 人	眠ったように見える冬の植物たちは、春に向けて備えている。外見からは見えない内部の成長、変化があることを知る。
	自然とふれあう ものづくり講座 〈こねて遊ぼう おがくずねん ど〉	7月（全2回） 参加者 30 人 ※2回は同一内容	おがくず粘土という紙粘土や油粘土などの普段使う粘土とは異なる素材を使うことで、木の香りやおがくずの手ざわりなどを楽しんでもらう。また、おがくずという廃棄されてしまうものを再利用して活用することでSDGsに対する意識を持つきっかけになる。
	市民がつくる講 座〈秋の探検と いもづるリース〉	10～11月（全2回） 参加者 18 人 延べ人数 34 人	普段は処分されるさつまいもの蔓や落ちているドングリなど地元の身近なものをを用いて、親しみをもち、地元愛を育む。また、リースの持つ意味や歴史を学んだ上で、クリスマスやお正月に自分で作ったリースを飾り、年中行事を楽しむ。
並木公民館	農業体験講座 （並木ファーマーズ）	4月～3月（全99回） 参加者 35 人 延べ1、899 人	内容：地元で農業に携わり、地域のことに精通している農家の方を講師として農業に関する実技指導を受けながら、実際に受講者が作付計画を立て、農地の畝づくりから育苗や播種、収穫、撤収まで協力して農作業をし、野菜づくりを行う。育苗や播種などの時期や方法など作業工程の確認をしながら仲間とともに農作業を行い、野菜の生育管理のための計画立案や作業も話し合いで決めて行う。並木公民館まつりなど様々な公民館事業にも参加する。 目的：参加者同士が農業を通して結びつくことで、地域理解と地域農業における課題に気づき、考えるきっかけとなる。 また、地域農業への学びを深めるだけでなく、さまざまな農作業を共に協力して行うことで講座員同士の連帯感が一層強まる。 農業に興味関心を持つことで、仲間と共に、公民館まつりなどの地域活動にも意欲的に参加することができるようになる。
	子ども農業体験 講座	5月～10月 （全10回） 参加者 14 人 延べ120 人	対象：小学生2年生～中学生 内容：野菜の播種、苗植え、収穫までの農業体験 目的：自分たちが普段食べている野菜が、「誰が」「どこで」「どのように」作られているかということ、体験を通じて学ぶ。実際に畑に入って農業の過程を経験することで、普段の食卓では見られない野菜の実の付き方や葉の様子などを野菜に対する知識や関心が高まる。また、自ら農作物を収穫することで、野菜や果物に対しての愛着が生まれ、食の楽しさを感じてもらおう。農作業を通じ、農作物に限らず虫や土などに触れ、インターネットやゲームでは味わえない、自然の恵みや面白さを意識することができる。